

新型コロナウイルス感染症に対する本市の支援策

1. 事業規模

- (1) 令和2年度既決予算の流用や予備費の活用により実施する事業 20億円
- (2) 令和2年度2月補正予算に計上する事業 120億円
- (3) 令和3年度当初予算に計上する事業 54億円

合計 194億円

2. 支援策の概要(主な取組)

(1) 緊急事態宣言の延長に伴う対応 20.1億円

- ①(仮称)北九州市中小事業者一時支援金事業 13億円【既決予算・予備費】**
 - 緊急事態宣言に伴い売上が減少した中堅・中小事業者のうち、売上が30%以上減少した場合など一定の条件を満たす事業者に、法人は最大15万円、個人事業者は最大10万円の支援金を支給
- ②子ども食堂への食材提供による農林水産物消費拡大支援 0.3億円【予備費】**
 - 市内直売所などで使用可能なクーポン券を子ども食堂に配布し、子ども食堂の運営と農林水産物の消費拡大を支援
- ③緊急短期雇用創出事業 2.1億円【既決予算・予備費】**
 - 緊急事態宣言の延長に伴う時短営業等により、アルバイトやパートが無くなった方や収入が減った学生などの受け皿として会計年度任用職員など臨時的雇用の創出
- ④コロナ禍における市内学生等サポート事業 3.68億円【予備費】**
 - 市内大学、短大、高専、専門学校、日本語教育機関に在籍し、経済的に困窮する学生を対象に、1人あたり5万円を支給
 - 新型コロナの影響により様々な不安を抱える学生を支援するため、市内大学に通う学部生に対するストレスチェックを行い、その結果をふまえ新たな学生支援に取り組む大学への助成を実施
- ⑤動画配信 & 感染防止対策ワークショップの開催 8百万円【既決予算】**
 - 劇場やライブハウスなどに対し、感染防止対策やライブ動画配信手法などの研修会を開催

⑥自宅及び施設待機者に対する医療支援 0.9億円【予備費】

- 陽性患者のうち自宅療養者等に対する支援として、健康観察のためのパルスオキシメーターの配布や陽性者外来の設置等を行うとともに、クラスターが発生した施設等への医療支援チームを派遣

(2) 検査・医療提供体制の確保 91.8億円

- (主な事業)
- ①検査体制の確保・充実 9.8億円**
 - 北九州市PCRセンター開設、民間検査機関への委託、身近な医療機関(協力病院・診療所・一般病院)での検査など体制の確保
- ②福祉施設に対するPCR検査支援事業 4.4億円**
 - 介護、障害者施設でのスクリーニング目的のPCR検査
- ③新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 62.7億円**
 - 新型コロナウイルスワクチンの接種及び体制整備にかかる費用
- ④新型コロナウイルス感染症医療提供体制支援事業 4.2億円**
 - 入院患者の受入(陽性患者:30万円/人、疑似症患者:6万円/人)
 - 帰国者・接触者外来の開設(1日:12万円(土日祝18万円)、半日:6万円(土日祝9万円))
 - 医療従事者等に対する宿泊(上限額:5千円/1泊)支援に要する経費
- ⑤公立病院における救急医療体制の確保 3.9億円**
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により利用が減少している市立病院機構について、政策医療(救急医療)継続に必要な運営費負担金を増額
- ⑥保健所機能強化事業 1.6億円**
 - 患者搬送、感染者・濃厚接触者への積極的疫学調査など保健所業務の一部委託化など、保健所機能の効率化及び組織体制を強化
- ⑦介護サービス事業所・障害福祉施設等感染症対策強化事業 0.3億円**
 - 感染防止対策研修や感染症拡大防止の専門家(KRICT)による訪問指導
 - 感染症が発生した施設の人員確保や在宅高齢者への介護サービス確保支援

新型コロナウイルス感染症に対する本市の支援策

(3) 地域経済対策・市民等への支援 62.4億円

(主な事業)

- ① **中小企業融資保証料補てん (地方創生臨時交付金基金積立金) 8.4億円**
 - コロナ関連融資の利用に伴い、令和3年度以降に必要な保証料補てん額に対応するため、基金を創設し、積み立てる経費
 - ※新型コロナの影響を受けた中小企業を対象とした融資枠は、別途3,000億円規模の融資枠を確保
- ② **中小企業のDX推進支援事業 0.7億円**
 - DXを検討する企業とデータ活用等を提案できる企業をつなぐプラットフォームの運営及びシステム導入経費や人材育成経費などの補助を実施
- ③ **お試しサテライトオフィス誘致促進事業 0.3億円**
 - 首都圏IT企業のサテライト拠点を本市に誘致するための経費
- ④ **公共交通事業者への事業継続支援 2.4億円**
 - 市民生活、地域産業を支える公共交通事業者に対し、事業継続を支援するため、運行経費の一部を補助
- ⑤ **地元航空会社に対する航空ネットワーク継続支援事業 10.0億円**
 - 航空需要が大きく落ち込む中、SFJが北九州ー羽田路線運航に要した経費のうち、航空機材費等の一部を補助する経費
- ⑥ **生活困窮者自立支援事業 1.8億円**
 - 新型コロナウイルスの影響等に伴う収入減少により経済的に困窮し、住宅を失うおそれがある者等に、家賃相当分を「住居確保給付金」として支給
- ⑦ **子育て世帯フードパントリー事業 3百万円**
 - 経済的な理由等で食糧支援が必要となった子育て世帯に対し、無料で食品を配付するフードパントリー事業を実施する団体等の運営費を補助

⑧ 保育所・認定こども園・放課後児童クラブにおける体制強化事業 1.6億円

- 保育所・認定こども園が子どもの送迎補助や消毒業務等を行う保育支援者や、放課後児童クラブが施設の消毒等を行う業務補助員を雇用する費用を補助

⑨ 妊産婦支援強化事業 0.4億円

- 感染症に不安を抱える分娩前の妊婦にPCR検査費用を助成(上限2万円/人)するとともに、産後ケア施設において事業継続に必要な感染防止対策を実施

(4) 新型コロナウイルスに対する更なる備え 20.0億円

(主な事業)

- ① **新型コロナウイルス感染症対策予備費 20.0億円**
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大防止や雇用維持・事業継続、市民生活への支援等の緊急対応に必要な経費を引き続き確保